

県南支部だより

平成 30 年 8 月 31 日発行

発行責任者 原田 仁稔

作成者 渡部さゆり

特別講演会

8月6日(日)10:00より、労働福祉会館にて平成30年度県南支部特別講演会が開催されました。

はじめに、一般社団法人福島県臨床検査技師会県南支部原田支部長から挨拶があり総勢62名の参加のもと開催になりました。

福島県臨床検査技師会県南支部
原田仁稔 支部長



特別講演 講師 吉田朋美先生



熱心に聴講する受講生

後半は、福島県立医科大学新医療系学部設置準備室教授の吉田朋美先生から「臨床検査とチーム医療～チームワーク教育を通じ見えてきたこと～」と題して講演がありました。

吉田先生は、以前、群馬大学の学生にチームワークについて講義をしてきたそうです。現在、臨床検査技師は“検査室の中で検査を行う”のみならず、“検査室を出て、メディカルスタッフの一員として医療に携わる”と、求められる役割が変化してきています。業務が円滑に進むにはチームワークが重要であり、学生のうちから教育を受けることで理解がより深まるであろうと思いました。

また、「To Err is human」＝「人は誰でも間違える」という観点からは、間違いを起こしてしまったことに対して責任追及をするのではなく、エラーの要因分析をしてエラーが起きないシステムを構築することこそ再発防止に重要である、と話されていました。エラーが発生した背景にはコミュニケーション不足が関与していることも少なくないということで、いかなる状況においてもコミュニケーションが基盤となることを再認識しました。

懇親会



会場を「三春の里 田園生活館」に移し、講師の吉田先生を交えた総勢29名で懇親会となりました。気温35℃と猛暑のなかバーベキューをするという過酷な(笑)状況でしたが、会員相互の親睦を深めることができました。



前半は、公立岩瀬病院吉川技師の進行で、平成30年度福島県臨床検査技師会学術奨励賞受賞者3名の発表が行われました。演題名は以下の通りです。

1. 「甲状腺機能亢進症にて心不全を伴った1症例」

太田西ノ内病院 小松真司技師

2. 「急性骨髄性白血病再発時に白血病細胞の心筋浸潤をきたし著明な両心室肥厚を認めた一例」

太田西ノ内病院 丹治麻衣子技師

3. 「郡山市地区における肺がん検診喀痰細胞診への取り組み」

坪井病院 佐藤陽子技師

【編集後記】

今回は初の試みとして日曜日の開催でしたが、いかがでしたでしょうか？今後も活気あふれる県南支部となるよう、皆様には支部主催の事業ならびに行事への参加をよろしくお願いいたします。